プチ指導案 チーム四小

青梅第四小学校
授業改善
6年

9月26日(金)3校時

国語「インターネットの投稿を読み比べよう①」

本時のねらい

・進んで説得の工夫を読み取り、学習の見通しを持って自分の意見をまとめることができる。

〔学びに向かう力・人間性等〕

本時のこだわり！！

既習している国語の力を思い出す
・説得力を高めるための工夫を見つける（主張を強める→事実・事例を述べる）

学習活動	指導上の留意点（〇）　評価（☆）
1.「インターネット」に関わる自分の経験や知識を振り返る。 T：インターネットと聞いて思い付くことを話してみよう。 C：相手が見えない。年齢や性別も分からない C：今では当たり前に使う。 C：いろいろな情報が発信されている。	〇インターネットに投稿されたコメントを見たことがあるかについて聞き、本教材の内容に焦点化していく。 学習の見通しを持とう
2．教材「インターネットの投稿を読み比べよう」を読む。 C：比べるだからいくつも投稿がある？ C：何について投稿しているのだろう？	〇題名にある読み比べる意味について全体で共通理解を図る。
3．学習課題を設定し、学習計画を立てる。 T：みなさんにも意見交換会に参加してもらいます。そのためにどんな力が必要ですか？ C：伝えたいことはあるけれど、自信がない… C：相手に意見をちゃんと伝えたい！	〇学習課題「インターネットの投稿を読み比べて説得の工夫を考え、自分の意見をまとめよう」と設定し、学習のゴールに議論に参加するつもりで自分の意見を考え書きまとめることを伝える。
4．議題「スポーツのよさは何だろう？」について意見交流する。 T：スポーツのよさは何だろう。 C：仲間と一緒に高め合えること C：試合に勝つとうれしい！ C：集中力が鍛えられる C：ケガは怖いよね…	〇教材文を読む前に「スポーツのよさは何だろう？」について今自分が考える「よさ」を見つけておく。 〇様々な意見や考えがあって良いことを伝える。 〇マイナスな意見が出た時に、全体で取り上げ、話し合う。
5.「意見交換会」を読む。 T：自分の考えに近いものがあるか、投稿者の考えは理解できるか、やりとりの発展の仕方はどうかなど、一緒に読んでいきましょう。	〇説得力のある文章にまとめたいという思いを高める。 〇自分の考えと比べて読む。
6．表現の工夫についてまとめる。 C：「実際に」と本当にあった事実を伝えている。 C：「例えば」と事例も使っている。 C：「私は～」と自分の話をしている。	〇事例や事実、自分の経験など説得力を強める表現の工夫について気付いていない児童には、主張のあとに述べている文章に注目するように指示する。 〇数値や書物の引用、ことわざなどに気付いている児童を取り上げる。
7．振り返る。 T：今の自分と比べてどうだったかな？ C：自分が交流会に参加しても、相手に伝わらなかったと思う。説得力を付けるために必要なことを身に付けたい。	☆進んで説得の工夫を読み取り、学習の見通しを持って自分の意見をまとめようとしている。（ノート・発言）